



THE ROTARY CLUB OF TOKYO NEW-SOUTH



Weekly Report 東京新南ロータリークラブ週報

Follow Your Rotary Dream

「ロータリーの夢を追い続けよう」

1998～99年度・国際ロータリーテーマ/ジェームス・レイシー会長

「明かるいクラブと豊かな人生」

1998～99年度・東京新南ロータリークラブテーマ/宮武 保義会長

本日の例会 7月24日 第569回例会

卓話 識字と計算能力について—インドの現況—

奈良康明氏（駒澤大学仏教学部教授・前学長）

第2回クラブ協議会 例会前(11:00~12:00)

テーマ「会員増強と退会防止」

先週報告 7月17日 第568回例会

◎卓話

ブッフスタイルのため卓話はありませんでした。

◎会長報告

☆東京南RC会長・上野一郎さん、幹事・森村潔さんがお見えます。

◎委員会報告

☆R財団委員会（高橋委員長）

地区R財団研修セミナーは7月9日開催されました。協議、報告事項は以下の通りです。

- 1) 財団の運営費 全世界のRCから集った寄付金を3つの投資専門会社に3年間年利7～8%で投資し、この収益で運営費を賄っている。運営費を差し引いて余った額を財団プログラムに使用している。
- 2) 財団プログラム 教育的・人道的な13のプログラムから構成されている。従来は教育に重点が置かれていたが、貧困、飢餓、子供の病気に対する援助等の人道的な援助にシフトしてきている。
- 3) 財団への寄付 村野年度は一般寄付として地区目標30万ドル、恒久基金としてのベネファクターは80名と設定した。一時払いで30万円以上の寄付は税制上優遇措置が受けられる。財団への寄付は上半期に達成したいという地区の方針です。

☆親睦活動委員会（小原健委員長）

恒例の親睦旅行は10月3日（土）4日（日）です。徳島一泊、鳴門海峡、明石海峡大橋を渡り、六甲に入ります。ゆったりとした旅程で土日に予定を組んでいます。奥様ともども奮ってご参加下さい。

◎出席報告

●会員 71名/出席 47名・欠席 24名（出席規定免除者1名）

●ビジター 5名（敬称略・順不同）大槇里奈・上久保慧奈美（東京恵比寿）、赤浦修・上野一郎・森村潔（東京南）

98～99第1回火曜会報告 7月7日

年に一度しかない珍しい七夕の夕べに、本年度最初の火曜会が昨年度と同じく全日空ホテルのアストラルで開催された。蒸し暑く、外を歩くのも嫌になるくらいの気候の中を、何と13名もの会員が出席、親睦活動委員長の小原さんを始め委員一同大感激。

本年度の火曜会は昨年度と順序を入れ替え、まず始めに食事をして少し眠くなったところでスピーチを拝聴するという順序になった。本日のスピーカーは前年度の当クラブ会長、武下さんにお越し、「淡々と過ごした1年間」というテーマで淡々と話して頂いた。普段の軽妙な印象とは異なり、真剣にロータリーの将来を心配されていることが言葉の端々に感じられ、出席者一同は居眠りするの忘れ、大きな感銘を受けたようであった。質疑応答も活発に行なわれ、従来の火曜会以上に充実した火曜会であったように感じられた。今回の火曜会に出席できなかった会員にとっては、ロータリーライフ上大きな損失になったのではないだろうか。

続く2次会にも、7人の会員が出席した。人数は1次会の半分になったが、アルコールが入って一段と声と気持ちが大きくなったせいか、1次会以上の盛り上がりを見せた。出席者の3分の1を占めた2名の新会員にとっても大変になる議論が交わされた。欠席裁判的な話も結構出ていたので、欠席された会員の中には当日くしゃみが多く出て、ひょっとして風邪を引いたかな、と思われた会員もいたのではないだろうか。欠席裁判で取り上げられることのないように、例会には出れなくても火曜会には出席しなくては、という思いを強めた会員も多かったと思われる。

2次会も時間通り9時にお開きになり、「今日は火曜会の後、珍しく家に直行だ」という、喜んでいるのか残念がっているのか良く分からない某会員の声を聞きながら、各自いそいそと帰宅の途についたのであった。（圓谷記）

出席者（順不動・敬称略）青野、荒木、福島、入沢、宮武、大日方、小原、佐藤、新保、四分一、高須、武下、圓谷



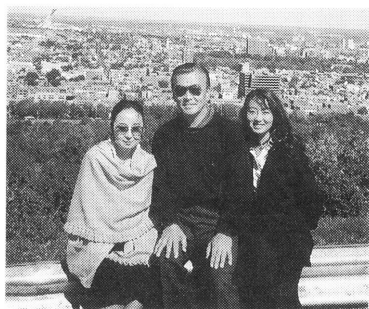
7月17日/8件 36,000円
98～99年度累計 165,000円
(順不同・敬称略)

上野一郎（東京南）/合同例会でお目にかかれるのを楽しみに。大槇里奈・上久保慧奈美（東京恵比寿）/本日はメーキャップさせていただきます。沖宏之/宮武会長、小澁副会長、大日方幹事一年間お体に気をつけてがんばって下さい。高須康有/吉岡さん、先日はお世話になりました。相澤成憲/メーキャップがつづきます。加藤昌明/何となく。河原勢自/大村さん久しぶりですね。柴田さんご苦労様です。柴田尚毅/ニコニコ担当です。本日は有り難うございました。

新会員からのメッセージ

水原信太郎君

1997年9月26日入会
職業分類・広告企画制作



トロントにて

昨年9月末入会させて頂きましたが早くも半年が過ぎました。

昨年春先、赤坂病院の小澁院長より「ロータリーに入らないか」と声をかけていただいたのが事の始まりでした。

その後、妻が入院する事になり、小澁先生には頻繁にお目にかかる事となり、その都度熱心にお誘い下さいました。

ロータリーについては父が生前ロータリアンであった事や私の同級生にもロータリアンがいて、一度卓話をたのまれた事がありましたので知ってはいましたが、実際小澁先生から声をかけていただく迄は自身がロータリアンになどとは毛頭考えていませんでした。

と言いますのも、私自身が考えていたロータリーというのは、入会なさっている方々は各々功成り名を遂げた方々のみであるという事。又、職業がら時間が不規則な私などは当然範疇外と考えていた事です。

しかし、小澁先生の度重なる熱心なお誘いと「週一度の楽しいランチタイムを過ごせばいいんだから」の一言で決心してしまった次第です。

入会して真っ先に感じたことは、思っていたよりなごやかな雰囲気の中で会員同士が分け隔てなく、楽しく談笑している事でした。

さらに回を重ねるごとに、皆さんがどんなことにも真面目に真正面から取り組む事に感動した事と、毎回の卓話も自身の勉強になると共に大きな意義も感じました。

身近な職業を通じ社会に奉仕するという事が柱であるという事ですので、末席をけがしつつもいつかお役に立ちたいと思っております。

まずは100%出席を目標に努力したいと考えておりますので、何卒この新人をよろしくお願いいたします。

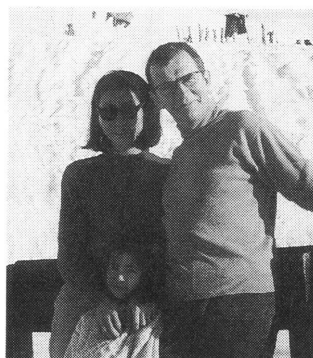
次週予告 7月31日 第570回例会

第一回クラブセミナー

「ロータリー情報についての質問に答える その1」

ティエリ・コンシニ君

1997年11月14日入会
職業分類・貿易促進団体



シャモニーにて

ロータリーの話は丁度一年前にさかのぼります。東京南RCの会員で私のよき先輩でもあるカラブイ氏からクラブに入らないかとの話がありました。当時、カラブイ氏から、「君はフランス人やヨーロッパ人にばかり会っているけど、ここで日本人の友人を作ったらどうか」と何度も言

われていました。実際、彼は、在日40年という年月も手伝って非常に多くの日本人の友人に囲まれていました。来日して12年、仕事を通して多くの日本人と知り合えましたが仕事を越えた関係を築くのは容易でないことを実感しはじめていた矢先の誘いでした。入会して半年経たず、確実に多くの良き友人が出来つつあることを実感しています。

それもこれも東京新南RCの雰囲気によるものと思っています。入会以来、何度かメイクアップの為に他のクラブを訪ねる機会がありましたが雰囲気の違いをよく感じます。メイクアップでの空気は固く、皆と話しが弾まないのに比べ、当クラブでは皆親しく、和やかな雰囲気に包まれているのです。

入会当初、クラブに依存している組織や委員会活動を注視していなかったのも、最近では皆が貴重な時間を費やし、運営しているのだと周りがよく見える様になりました。また、国内や海外出張の際に滞在先のホテルで他のクラブの看板が見えるとクラブに対する親しみと大きな組織の一員であるプライドすら感じます。かようにロータリーについては未だ勉強不足ですが社会におけるロータリアンとしての自覚は確実に増しています。

そろそろ、「もらう」ばかりでなく、「貢献」をしなければなりません。これからは何らかの形で委員会活動に参加したり、クラブを紹介したり、または、外部のボランティア活動に積極的に参加したいと思っております。

最後になりますがお世話になっておりますカラブイ氏、宮本さん、そして皆様に心より御礼申し上げます。皆様のお陰でより一層日本が好きになり、共に多くの思い出を分かち合いたいと願っております。

お知らせ

☆98～99 RI「公式名簿」

一部 \$9.00 ご希望の方は事務局まで

☆会員事業所 FAX 番号変更：福島賢哉君

賢プランズ設計事務所→03-3388-6751

<会報委員>

田中 武、小杉 眞史、小原 渉、
開発 英基、柴田 尚毅、大山 啓人、
T.CONSIGNY、水原信太郎、谷 義一、
金光 圭一、大村 富俊、村山 公士
(編集担当順)

東京新南ロータリークラブ

会長：宮武保義 副会長：小澁雅亮 幹事：大日方真
〒107-0052 東京都港区赤坂2-19-8 赤坂2丁目アネックス3階

TEL: 03-3505-5976 FAX: 03-3505-6004

例会日：毎週金曜日 12時30分

例会場：東京全日空ホテル 〒107-0052 東京都港区赤坂1-12-33 TEL:03-3505-1111